

第108回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会開催にあたって

第108回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会

会長 竹内 利寿

(大阪医科薬科大学病院 消化器内視鏡センター)

この度、第108回日本消化器内視鏡医学会近畿支部例会の会長を務めさせていただきます、大阪医科薬科大学病院消化器内視鏡センターの竹内利寿と申します。伝統ある本会の開催を仰せつかり、身の引き締まる思いであるとともに、大変光栄に存じます。

新型コロナウイルスのパンデミックが最初に起こってからこの2年間、我々は様々なことを経験し、そして乗り越えてきたと思います。今では with コロナが当然のような社会となっている中、種々の医学系学会が、完全 web あるいは現地と web の hybrid として実施されるようになりました。これら新しい開催様式では多数の先生方に気軽に参加いただけることや、タイムラグなく色々なセッションをご視聴いただけるなど、従来の現地開催に勝るとも劣らない多くのメリットがあると感じています。そこで本会も現地と web の hybrid 開催として企画いたしました。現地では万全の感染対策を実施いたしますので、感染状況が落ち着いていましたら、先生方には是非現地にお越しいただき、学会ならではのライブ感も味わっていただけたらと思います。また抄録集にはアプリをご用意いたしますので、是非ご活用ください。

本会の主題は上部・下部を合わせた消化管領域と胆膵領域に分けて、それぞれ“診断”と“治療”のセッションを設けました。また消化管出血と小腸内視鏡のテーマも設け、全体的に幅広く6つのセッションを企画いたしました。先生方の日々の臨床、ご研究の成果を存分にご発表いただけたらと思います。また従来どおり一般演題に加え、若手の先生方を対象とした Young Endoscopist セッション・Fresh Endoscopist セッションも設けております。是非奨励賞を目指してご発表頂けたらと存じます。

その他ランチョンセミナー、アフタヌーンセミナーを多数ご用意いたしました。何れもエキスパートの先生方による最新のテーマについてのご講演ですので、大変楽しみにしております。

最後になりますが、このような情勢の中、167題と多くの演題をご応募頂き誠に有難うございました。近畿支部の先生方、共催企業の皆様、ご支援頂いた全ての皆様に厚く御礼申し上げます。当日皆様にお会いできます事、心待ちにしております。